



カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																				
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
																									
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・今後、エコアクション21を取得する。			3.9			6	7				12	13.3	14	15							
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	【予定】HP等に環境の取り組みに関する情報を開示する。											12.6										
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・太陽光発電施設を維持していく。 ・本社及び倉庫の屋根に太陽光発電パネルを設置している。							7.2					13									
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・雨水(天然水)を利用設備を設置している ・現場で発生した伐採木を周辺住民へ無料配布している。											12.2	13	14	15							
22	公正な 事業 慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・汚職・贈収賄その他いかなる便宜供与もしてはならない旨を規定し社員に周知している。															16	16.5					
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・不正競争行為に関与しないことは勿論のこと不正競争行為禁止を社員に周知している。																16					
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・知的財産を適切に管理し、保護に努める。																8.2	9	8.3			
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・社内の個人情報は、責任者が適切な場所に保管している。																		16			
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・紛争鉱物の取り扱いはありません。																		16			
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・取引先との対話を通じた人権侵害防止等の取り組み状況の確認活動を行っている。					5							8		10		12	13	14	15	16	17
28		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・安全上、一部設計変更を行うことが望ましいと判断される際は、施工業者として提案することが出来る機会を施主、設計会社との定例会議等で確保している。			3.9										12.4								
29	製品・ サー ビス	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・機能面向上等で一部設計変更を行うことが望ましいと判断される際は、施工業者として提案することが出来る機会を施主、設計会社との定例会議等で確保している。																9					
30		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・環境に配慮した資材、工法など発注者に提案等し施工に努めている。							6					12	13	14	15						
31		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・建設業の熟練作業員不足に対して、ICTを活用した労働生産性向上を目指した施工に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																							
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
																												
32		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・工事の着手前に積極的に地域の方に説明をし、理解を深めてもらっている。				4									9		11	12			14	15		17		
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・災害対応で地方整備局、県、市町村の応援要請に対し、積極的に対応している。				4												11					14	15		17
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・砕石などの地域資源を積極的に使用している。 ・再生材など、積極的に使用している。														8	9		11	12	13					
35		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・経営理念、品質・環境・安全の方針や目標を明文化し、共有し全社員に周知している。														8	9									17
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・毎年実施の安全衛生大会にて、労働安全コンサルタントによる安衛法等関連の勉強会を開催し、法令遵守に向けた現場教育を徹底している。																								16
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・専門部署はないものの、経営理念に則って、環境への配慮をすべく社員一人ひとりが取り組んでいる。																								16
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・ステークホルダーと対話し、自社活動の影響を把握し適切に対応する。																							16	17
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・現場ごとにリスクを洗い出し、評価を行い、適切な対応をしている。																								16
40		【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・企業の社会的責任の考えに基づき企業活動が社会や環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいく。																								16
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	【予定】事業継続計画(BCP)を策定し、社内で連絡、共有できるようにしていく。																9		11			13		16	
42		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・若手雇用を積極的に行い事業を持続して行えるよう技術や知識の伝承を行っている。															8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

**【記載留意事項】**

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものであっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）